

自然と、あなたと、ともに未来へ。



2025年2月5日

株式会社レノバ

「御前崎港バイオマス発電所」の営業運転開始に関するお知らせ

株式会社レノバ（東京都中央区、代表取締役社長 CEO 木南陽介、以下「当社」）が出資する御前崎港バイオマス発電所（静岡県御前崎市・設備容量 75.0MW）が2025年1月29日付で営業運転を開始しましたので、お知らせいたします。

木質ペレットとパーム椰子殻（PKS）を燃料とした出力 75.0MW の本発電所は、当社、中部電力株式会社（愛知県名古屋市、代表取締役社長 林欣吾）、三菱電機フィナンシャルソリューションズ株式会社（東京都品川区、代表取締役社長 小池宏之）、鈴与商事株式会社（静岡県静岡市、代表取締役社長 伊藤正彦）が共同出資した、合同会社御前崎港バイオマスエナジーにて、これまで準備を進めてまいりました。

当発電所は、静岡県の最南端、駿河湾の入口である御前崎港に立地しています。御前崎港は、太平洋外洋航路へのアクセスの良さに加え、東名や新東名高速道路、富士山静岡空港など、陸・海・空の交通アクセスにも非常に恵まれており、これまでも県中西部地域における物流・産業開発の一大拠点として重要な役割を果たしてきました。当発電所の運転開始により、燃料輸送船の発着に伴うさらなる港湾施設の活用や、新たな雇用創出など、御前崎市と牧之原市を中心とした地域経済の活性化、さらには再生可能エネルギー普及率向上への貢献が期待されています。

今後も地域の皆さまや関係各所のご理解・ご協力をいただきながら、安全と地域社会との共生を最優先として発電所を運営し、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

【御前崎港バイオマス発電所の概要】



（御前崎港バイオマス発電所／2024年2月撮影）

事業主体	合同会社御前崎港バイオマスエナジー
建設地	静岡県御前崎市港 6620 番地 78
発電容量	75.0 MW
想定年間送電量	約 53,000 万 kWh (一般家庭約 17 万世帯の年間使用電力量に相当)
売電単価	24 円/kWh
運転開始	2025 年 1 月 29 日 (水)
出資会社	株式会社レノバ (38.0%) *1、 中部電力株式会社 (34.0%)、 三菱電機フィナンシャルソリューションズ株式会社 (18.0%)、 鈴与商事株式会社 (10.0%)

*1 「合同会社御前崎港バイオマスエナジーに係る持分譲渡に関する覚書」に基づき、御前崎港バイオマス発電所の完成日以降に、一部の共同スポンサーが保有する特別目的会社出資持分 (18.0%) を当社が買い増す権利を有しています。

以上

【リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社レノバ 広報室 中森

Email : press@renovainc.com